

群馬県利根郡みなかみ町 MINAKAMI DIET NEWS

みなかみ議会だより

3月定例議会

平成25年度当初予算 24年度補正 ……1,2

一般質問 ……………5~13

●写真/春の風物詩（笠原地区の幟旗）



31号

平成25年(2013年)
5月1日発行

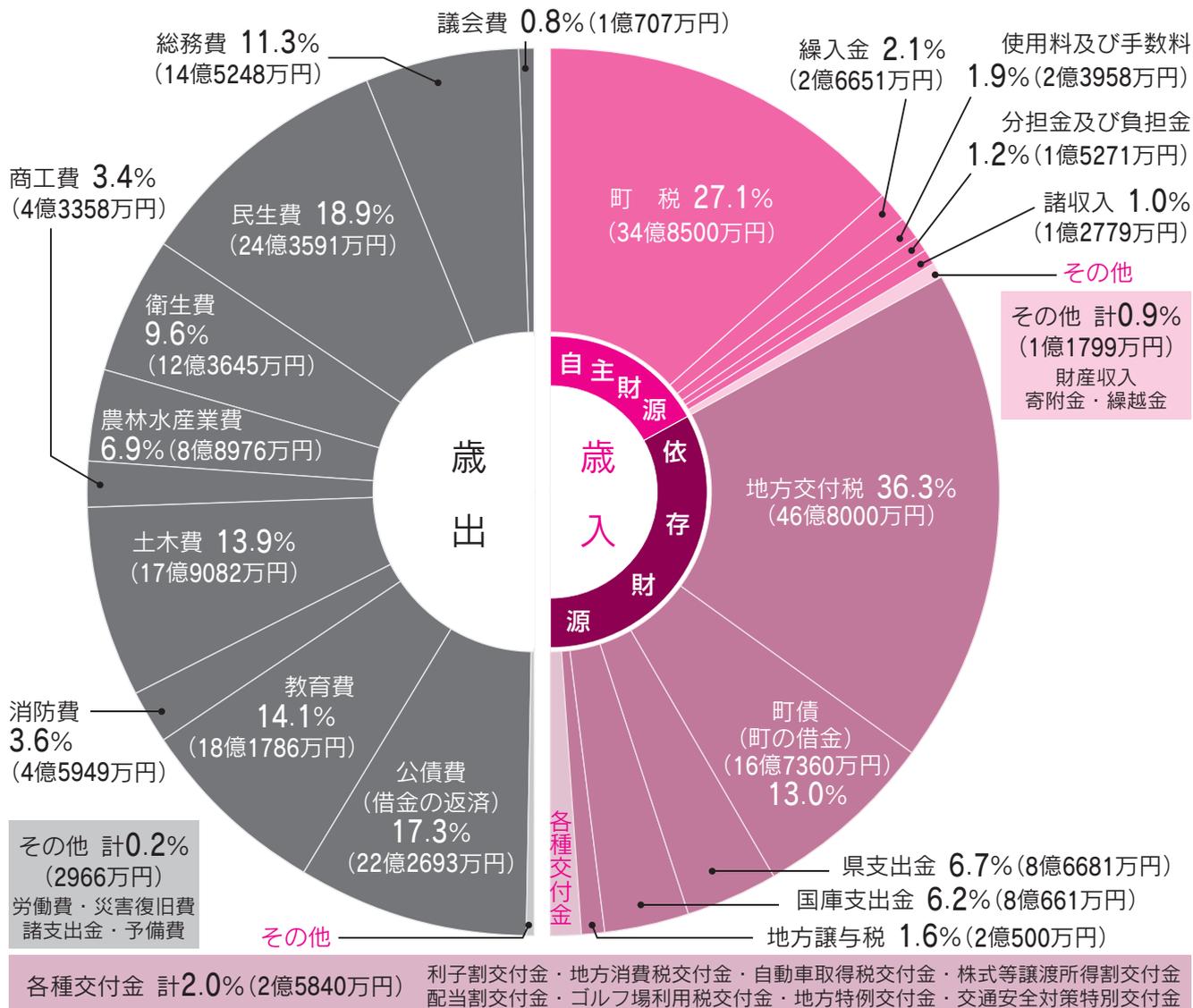
平成25年度 当初予算

25年度当初予算6件、
24年度補正予算6件、
条例制定・改廃12件、
その他委員選任等6件
が提出され、審議の結果、すべての
議案を原案通り可決しました。

決まる

一般会計 / 総額 128.8億円

※四捨五入のため、合計と一致しない場合があります。



特別会計

区分	金額	区分	金額	
国民健康保険	29億8700万円	水道事業	収益的収入	4億3700万円
後期高齢者医療	2億5800万円		収益的支出	4億3700万円
介護保険	20億3000万円		資本的収入	6200万円
下水道事業	9億7600万円		資本的支出	1億7900万円

議案トピックス

平成25年4月1日より『出産祝金』改正

●祝金額

●支給対象

賛成多数で可決（賛成14：反対2）

	これまで	これから
第1子	20,000円	70,000円
第2子	50,000円	70,000円
第3子以降	150,000円	150,000円

24年度補正予算（3月補正／全会一致可決） 単位:千円

項目	補正額	主な内容	総額
一般会計	250,690	歳入 町税/110,220 交付税/175,518 入 国負担金/132,306 基金繰入/▲93,012 ほか 歳出 防災安全交付事業/204,493 土地取得費/121,000 児童手当等/▲26,887 出 道整備交付金事業/▲47,338 ほか	14,152,553
特別会計	国民健康保険	歳入 繰越金/90,667 国支出金/▲81,610 退職者交付金/21,771 ほか 歳出 給付費負担金返還/26,861 ほか	2,980,526
	後期高齢者医療	歳入 保険料/▲12,882 ほか 歳出 広域連合納付金/▲16,332 ほか	252,835
	介護保険	歳入 交付金/10,793 繰入金/15,532 ほか 歳出 給付費/49,000 ほか	1,993,414
	下水道事業	歳入 町債/▲14,700 ほか 歳出 負担金/▲18,800 ほか	1,004,800
	水道事業	収益的収入 6,817 水道料 支出 5,475 動力費・光熱水費	442,252 436,097
	資本的収入 2,050 国補助金 支出 21,340 石綿管布設替え工事	278,223 460,235	

みなさんからの 請願・陳情 審査結果一覧

No.	件名	提出者	付託委員会	審議結果
請願	1 「こころの健康を守り推進する基本法(仮称)」の制定を求める意見書提出に関する請願	特定非営利法人こころの応援団 代表 千代田すみ子	厚生	採 択
	2 年金2.5%削減の中止を求める意見書の請願	全日本年金者組合群馬県本部 執行委員長 女屋 定俊 利根支部長 林 マツ	厚生	不 採 択
要請書等	女性農業者の農業委員登用について	ぐんま農村女性会議 会長 鈴木 春美		(資料配布)
	町道後閑師線未改良区間の拡幅要望書	師区長 山之内豊司 町道後閑師線拡幅推進委員長 師 久夫		(資料配布)

総務文教常任委員会 3/18

- ・ 特別支援教育の現状 新治小学校
- ・ 矢瀬遺跡老朽化の現状 矢瀬遺跡



町内小学校の特別支援教育は充実しており、H25年度も引き続き継続されていくことを確認。



H26年度以降に、老朽化した施設の修繕に着手する計画との説明を受ける。

産業観光常任委員会 2/26-27

- ・ 国土交通省東北地方整備局表敬訪問及び災害復興状況視察
宮城県仙台市・名取市



実際に3.11の震災で指令を行った危機管理室での研修や現地視察で、みなかみ町での防災体制の強化や対応力のレベルを上げ、今後に対応していくことを確認。



教育環境特別委員会 2/22

- ・ 幼保一体型施設「ゆうゆうのもり幼保園」 横浜市都筑区早瀬



子どもたちの遊びを重視した設計の園舎を視察しながら、設立経緯や運営状況の現状について調査し、みなかみ町でのより具体的な対策へ繋げたい。

商工会・観光協会との意見交換会開催

まちづくりを共通認識で

3/21 18:00~

みなかみ町観光センター会議室

今回で2回目の、議員との意見交換会には、約30名の方々にご参加をいただき、主に以下の様な内容について意見交換をいたしました。

今後、内容について検証し、まちづくりに力を注ぎます。

1. 上毛高原駅前活性化について
 - ・駐車場の有料化
 - ・駅名の変更
2. デイサービス併設の保育園について
3. 観光の町について
 - ・アウトドア振興条例の推進
 - ・名胡桃城址の公園整備
 - ・花の町みなかみの提唱
4. 定住・雇用促進について
5. 防災協定について
6. 基金運用内容について
7. 防災情報伝達の脆弱さ解消について
8. 議会情報伝達の向上について
9. 議員の政策提案について
10. 農産物の販路窓口について



参加者の皆様からの

「議会だよりアンケート」結果 ※回答率 35%

- Q1. 議会だよりを知っている人…………… 100%
- Q2. 内容を見る人…………… 90%
- Q3. よく見るコーナー…………… 1位 一般質問
2位 活動報告
3位 予算
- Q4. 町広報と比較しての重要性…………… 70%(平均)

Q5. ご意見等

- ①観光施設にも配布して欲しい
- ②視察報告に加え町はどうしたいか等の感想を載せる
- ③活字が多いところはざっと見る
- ④女性などにも見やすく、わかりやすく校正して欲しい
- ⑤ドールやデサントの件でどういった方向に向いたかわからない。お金の流れなどわかるような説明が欲しい
- ⑥サル対策を本気で強化してなんとかして欲しい



議員表彰

★10年表彰

(群馬県町村議会議長会)

- 鈴木 勲議員(写真上段右側)
- 森下 直議員(写真上段中央)
- 河合 幸雄議員(写真上段左側)
- 中村 正議員(写真下段右側)
- 久保 秀雄議員(写真下段中央)
- 小野 章一議員(写真下段左側)

一般質問

町政を問う

8人が質問を行いました。

主な内容

- 島崎 栄一 ①サル・イノシシ対策について 6
- 林 一彦 ①みなかみ町をエコパークとするのか 7
- 林 喜美雄 ①キラリと光る「みなかみブランド」の育成支援
..... 8
- 高橋 市郎 ①広域農道（望郷ライン）の
県道・国道との接続について 9
②人口の高齢化対策について
③総合窓口の設置について
- 小林 洋 ①アメニティーパークについて10
②鳥獣対策について
③国際観光誘致及び交流について
- 原澤 良輝 ①中小企業憲章・
中小企業振興基本条例の制定について11
②鮎や溪流魚を利用した地域活性化について
- 中島 信義 ①谷川岳エリアの取り組みは12
②古民家（空き屋）の活用は
- 内海 敏久 ①今後の名胡桃城址は13
②みなかみ町歴史ガイドの会の位置は

○一般質問とは

議員が町の行財政全般にわたって執行機関に疑問点をただし、所信の表明を求めるものです。

執行機関の政治姿勢を明らかにし、それに対する政治責任を明確にさせたり、結果として、現行の政策を変更、是正させあるいは新規の政策を採用させるなどの目的と効果があります。

定例会のみで行われ、現在、みなかみ町議会での一般質問の時間は、一人50分までとなっています。

林
一彦
議員



エコパーク認定

本町は申請するののか

町長 認定に向けてできるだけ支援したい



綾町のシンボル「綾の照葉大吊橋」

問

赤谷プロジェクトの翌年に発足した宮崎県綾プロジェクト「自然と共生した地域づくり」が評価され、昨年の七月にユネスコエコパーク※に認定されました。

綾町は、登録されたことで、町民が町に誇りを持ち、自然と共生し、調和のとれた地域活動をさらに充実、発展させていくことになりました。また、国際的に評価されることで、メディアにも取り上げられ、国内外から訪れる人が増加しました。

この綾町と同様の取り組みを展開中のみ

答

町長 みなかみ町が守る、生かす、広めるといふ、みなかみ・水・「環境力」宣言をやっております、まさに趣旨に合致したのがユネスコのエコパーク構想です。

赤谷プロジェクトを中心として、エコパークの認定に向けて力を入れる、それに町ができる支援をする、具体化に向けての勉強を重ねたい。その際の専門家の招致等には、町が協力します。

問

綾町では、資源循環型社会の構

築実践が大きく評価されました。

本町でも、廃棄物の有効利用・経済的なエネルギー循環型の装置の活用をどう考えていますか。

答

町長 町営温泉施設で源泉の温度が低いので、活用して加熱することは、導入可能です。

環境省の補助金等を申請し、その範囲内で試験導入すべく努力します。

※ユネスコ（国際連合教育科学文化機関）エコパーク
自然の保全と利用調和を図る生物圏の保存地域の通称。

林 喜美雄 議員



「みなかみ」ブランド育成 さらなる支援を

町長 ブランド力向上が大切であり支援したい

問

ブランド米「水月夜」が昨年秋に生産組合が発足し、ブランド名を公募の形で命名されました。各種食味コンクールで優秀な成績を挙げております。

有利な販売ができないか、後継者が育つような米作ができないか、あと一押し支援を。

答

町長 ハピネス計画の一環として、地場産業振興対策事業を活用して支援してきた所です。ブランド米を確立することは、農業振興だけでなく、地域そのもののイメージを高めることにつながります。さらに支援していきたい。



「薬膳」をテーマにした商品展開
(町商工会「GOKITAI」パンフレット)

答

町長 事業者、商工会を中心に

問 来客者に提供される食やお土産等、みなかみブランドとして内外に発信できる商品開発の現状と課題については。

ヤーコン、桑茶、薬膳菓子などを開発し、ブランド力をつけていくことが大事です。今後は、ブランドを認証する委員会の考え方をもって支援していきたい。



農業体験を目的とした教育旅行の受け入れが行われている

問

教育旅行について、グリーン&アグリツーリズム推進の中で各種体験を伴いながら、ホテル、旅館民宿等々宿泊施設と農家泊のセットで、児童等の受け入れが可能な地域になっていきます。無形のみなかみブランドになりつつあります。

農業体験、里山体験等を通して、自然に触れ合いながら学ぶというところで、学校側も教育的価値が高いという評価をされているようです。

今後の対応は。

答

町長 町は群馬県で最も進んでいると理解しています。

受け入れ体制の充実強化を図って、諸般について協力しながらやっていきたいと思っています。

高橋 市郎 議員



望郷ライン起点への アクセス改善策は

町長 真庭郵便局経由と跨線橋の二案で



起点側は現在は国道・県道とも直接接続していない

問 望郷ラインの起点である後閑地内の県道・国道との接続が良い状況ではありませんが、その改善策について町長の考えをお聞かせください。

答 **町長** 広域的に自治体を結んでいるので、県道への昇格について、利根総合開発協会として県へ陳情書を提出しており、趣旨採択になっていきます。

町としては、短期的な整備としては真庭郵便局前から国道一七号に出るルートを整備し、長期的には上越線

をオーバーブリッジで沼田境の方へ持つて行くというのが、大きな二つの案です。

問 町において人口の高齢化が進んでいます。その中でも高齢者世代、特に高齢者の一人暮らしの方々が多くなっている現状に対応した政策が必要であり、

高齢者のみの世帯等に安心な暮らしを

問 行政サービス 役場に「総合案内窓口」開設しては 町民の方々が各種手続き等に来庁したときに、どの窓口に行けばよいのか分からなかったり、何カ所も窓口を歩かされたりと大変であったという声を聞くことがあります。利用者の立場になって、不便を解消できるような総合窓口の設置を検討してはいかがでしょうか。

答 **町長** 現在の事務所は、ほとんどの課でオープンカウンターになっており、町民の方がきてもすぐに相談できるという体勢になっています。さらに町民の方々に不便を感じさせないように、職員の意識向上に努めたい。

答 **町長** 町の高齢化率は三二・三%であり、一人暮らしの老人が一〇〇三人、

そして高齢者のみの世帯は一八四一世帯であり、急速に増加しています。町としても、二十四年から三年間を見通した第五期高齢者保健福祉計画に対応策を盛り込んで、各種支援事業に取り組んでいます。

小林

洋
議員



アメニティパークの 長寿命化でどう変わる

町長 7年延命によりコスト削減図る

問

アメニティパークが、長寿命化改善計画によりどうなるのか。

また、ごみ処理行政の中期・長期的計画は？

答

町長 アメニティパークの施設の耐用年数を延ばす目的で計画された延命対策により、トータルコストを削減します。一般にごみ処理施設の耐用年数は二十年程度なので、平成三十年が更新の目安ですが、目標値として平成三十七年まで延命します。

又、ごみ処理施設は



耐用年数を延ばすための施策が計画されている

※1 平成三十年稼働時は西部三ヶ町村の共同施設でした。現在は町村合併により町単独の施設となったため、現状での更新(建て替え等)では国の支援が得られません。

広域的でなければ国の支援がもらえません。したがって、利根沼田市町村で協議会を設けていますが、具体的な段階には至っていません。

■鳥獣被害対策

獣害情報の収集・管理体制の状況は

問

鳥獣対策における情報収集及び管理についての現状は？

答

町長 情報データは相当集まっていますが、有効

問

活用する段階には至っていません。25年度には有効活用できる段階に移りたい。

答

町長 情報の収集と共有のために各地域に相談員もしくは、

情報員等を設置する考えは。

答

町長 地域の人たちにどう情報を伝達するか、また情報を巻き込んだ中でその辺も取り組んでいきたい。

■観光振興

外国人観光客の誘致に注力を

問

人口減少による内需の縮小が予想される中、外国人観光客誘致及び交流、すなわち外需の取り込みが重要と思うが、町長の考え及び今後は。

答

町長 地域経済・雇用にとつて非常に重要だと思っ

ている。教育旅行等も成果が出ており外国客の誘致は、今後も各団体あるいは各事業者と連携しながら強化して

いく点と考える。平成二十五年予算については国・県と連携し、

※2 インバウンド(Inbound) 海外からの旅行者を日本へ誘致すること。また、その旅行者。「外から中へ入ってくる」が原意。



原澤 良輝 議員



憲章・条例を定め 中小企業に対し支援を 町長 地域の支えであり憲章必要と思う

問 国・県も中小企業憲章等を定め、中小企業の支援に踏み出しました。

町の役割を明記した、

同憲章・条例を定め、地域密着で地域循環できる業者の支援策が必要ではないでしょうか。

答 町長 九割を超えて町の中

小企業が地域経済を牽引し、地域の力であり

町の中小企業が元気になり、活力が上がる
ことがまちづくりを進めるために極めて重要であり、同憲章等の必要性を感じています。

問 金融円滑化法が三月末に期限が切れ、電機等大企業のリストラが下請企業に影響を及ぼしています。

町の月夜野電子の状況、ヤマキの工場見学と観光への取組状況は、

答 町長 産業観光

は早期に始めるために、同社と三月に打ち合わせ予定です。月夜野電子は太陽誘

■アウトドア振興
問 鮎・溪流魚放流で釣りによる活性化を
県・町に来る釣り客が、鮎が釣れないので、長野や新潟など県外に行き減少しています。

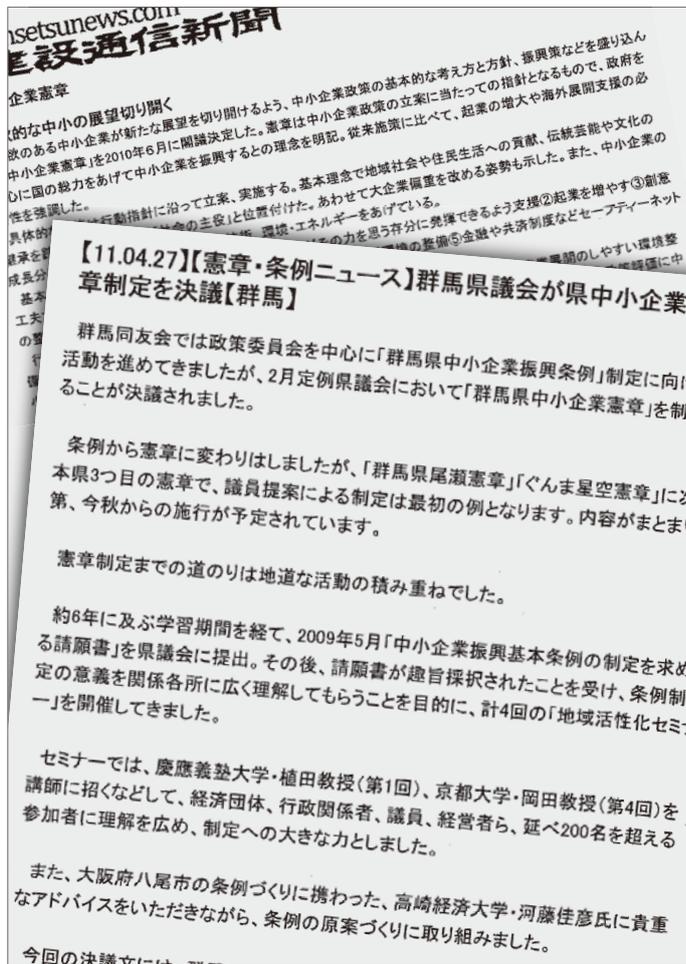
町独自の放流策など研究する必要があるのでは。

答 町長 町が放流

事業をする例は少なく、コスト、生態系、環境保全など検討課題もあります。いろいろな方が自然に触れ合うアウトドアの一つに釣りがあるので、全体として検討していきたい。

答 町長 木質バイオマス発電は地元に金が落ち、林業・有害鳥獣駆除に好ましいので支援したい。

国の新技術導入再生エネルギー事業も、情報収集し取り入れたい。



中小企業に対する支援策の基本的な考え・方針が定められている

中島
信義
議員



谷川岳エリアの活用に 今後どう取り組むか

町長 エコツーリズム軸に業者等と連携して

町のシンボルであると同時に主要な観光資源



問 谷川岳は町のシンボルです。多くの登山者、観光客が訪れています。平成二十二年より谷川岳エコツーリズム協

議会が発足し、様々な活動を推進し、昨年は国の四省庁より認定され、新たな一步を踏み出しました。
自然、環境、そして観光へ、今後の取り組みについてうかがいます。

答

町長 谷川岳はまさに町のシンボルです。大変重要地域であります。

国の機関より認定され表彰をいただいた谷川岳エコツーリズムの基本構想、守る・活かす・交わるの基本理念を生かして、JR・宿泊業者とも連携していきたいと思っています。
一ノ倉への車輛規制も、歩いていただく、これが基本と思っています。歩いて行けない方々への代替交通は検討していきます。

■誘客と定住促進

空き家の情報集め提供しては

問 都会で地方の空き家を探している方がいると聞いています。

町として、古民家も含め空き家情報を発信する取り組みはありますか。

答

町長 県内各地で制度を設けて進めている自治体もある。

答

町長 東京芸大の学生さんの話と全く同じだと思います。

問

趣味で絵を描く友人がいます。都会で絵を描くスペースが無くて困っているとも聞いています。



空き家を活性化資源として活かせるか

今後、空き家の情報を集積するには議員の方はもちろん、区長さん等地域の方々の協力が第一と考え、検討していきたいと思っています。



名胡桃城址ガイドツアーの様子



内海 敏久 議員

名胡桃城址の整備 現状と今後は

教育長 委員会が活動中だが協議に時間必要

問 発掘調査が数十年前に行われて

いますが、まだ報告書が出ていないのはどうしてでしょう。またどうしてこんなに遅れたのですか。

答 **教育長** 遅ればせながら、平成二十五年二月二十五日に完成いたしました。

学術的に貴重な材料を包蔵している史跡のため、専門家の分析等手間のかかる調査のため時間がかかりました。

問 報告書の作成三〇〇部の所、町には三〇部しか残り

ないということですが、三〇部くらいではどこにも足りないと思いません。

それにガイドの皆さんに配布すれば終わってしまいますが。

答 **教育長** 国庫補助で発掘した場合、三〇〇部印刷の上

関係各所・研究機関等へ無償配布するよう定められています。それに、ガイドの会用は四〇部ほど配布する予定です。

問 整備委員会の活動状況は。

■ガイドの会
案内所の改善は

問 ガイドの会は、三〇名で活動しています。

主に名胡桃城址の案内を、木曜日が休みだけで一〇時から一六時まで二人ずつ案内所に詰めています。

また、三〇万円ほどの補助金をいただいています。パンフレット代で終わってしまうので、改善するお考えは。

答 **町長** 観光客案内のためのパンフレットのみであるというのであれば、観光協会や町で用意する方向で考えてみたい。

問 案内所の維持管理費については。

答 **町長** 何らかの格好で町が出す、これは当然のことだろうと思っております。

答 **教育長** 積極的に現在も活動しています。

問 くるわ間の木橋や土塁の復元、そして案内板設置の要望書が出ていますが。

答 **教育長** 委員会は取り上げていますが、管理計画書や専門家の協議の中で進めるので、今少し時間がかかります。

議会の動き

*平成25年2月～4月

※議会議員および議長が出席した行事

2月	1(金)	町身障者福祉協会新年会(シャトウ猿ヶ京) 観光振興計画策定委員会(観光センター)
	4(月)	町花火大会実行委員会(観光センター)
	13(水)	議会視察研修(~15) 町文化協会新年会(辰巳館) うららの郷公民館地鎮祭
	14(木)	利根郡議長会(文化会館) 利根商議員協議会(文化会館) 協議会(文化会館)
	15(金)	利根沼田県政懇談会(ティラン)
	18(月)	源流サミット実行委員会
	19(火)	全員協議会 イタリアアグリツーリズム報告会(カルチャー)
	20(水)	県議長会定期総会(市町村会館)
	21(木)	広域圏組合(文化会館) 利根商議員協議会(文化会館)
	22(金)	老連月夜野支部芸能大会(老人センター) 教育環境特別委員会視察(神奈川県)
	23(土)	チャリティー芸能大会(老人センター)
	26(火)	産業観光常任委員会視察(~27、仙台)
	28(木)	議会運営委員会

3月	1(金)	利根商卒業証書授与式(第一体育館)
	4(月)	国保運営協議会
	5(火)	町総合計画審議会
	7(木)	第1回みなかみ町議会3月定例会(初日) 町観光振興計画策定委員会(観光センター)
	8(金)	第1回みなかみ町議会3月定例会 全員協議会 議会だより編集特別委員会
	10(日)	ゆびそ雪像祭り(湯松曾公園)
	11(月)	予算連合審査
	12(火)	各委員会
	13(水)	各委員会 各中学校卒業式
	15(金)	第1回みなかみ町議会3月定例会(最終日)
	18(月)	総務文教常任委員会視察
	19(火)	利根川源流水源地域ビジョン推進協議会 (改善センター)

3月	20(水)	少年剣道錬成大会(月中剣道場)
	21(木)	月夜野北幼稚園・新治こども園卒園式
	22(金)	月夜野幼稚園・下牧幼稚園卒園式 焼骨灰供養(沼田聖園) 沼田土地開発公社理事会 谷川岳交通対策連絡協議会(カルチャーセンター)
	23(土)	わかくりこども園卒園式
	25(月)	各小学校卒業式
	27(水)	第3保育園・月夜野保育園卒園式 区長会役員会(聚楽)

4月	1(月)	教職員辞令交付式(カルチャーセンター) 議会だより編集特別委員会
	5(金)	第3保育園・月夜野保育園入園式
	6(土)	ボランティア100回記念大会(片品文化センター)
	8(月)	小学校入学式 中学校入学式
	9(火)	にいほるこども園入園式 利根商入学式(利根商)
	10(水)	月夜野幼稚園・下牧幼稚園入園式 議会全員協議会 総務文教常任委員会 厚生常任委員会 議会だより編集特別委員会
	12(金)	教職員離任式(カルチャーセンター) 体育協会表彰式及び総会(カルチャーセンター)
	13(土)	わかくりこども園入園式
	15(月)	郡町村議長会監査(文化会館) 郡議長会(文化会館) 広域圏議員協議会(文化会館) 利根沼田春季行政懇談会(ティラン)
	16(火)	第2回みなかみ町議会4月臨時会 議会運営協議会 厚生常任委員会 議会だより編集特別委員会
	17(水)	区長会(公民館)
	18(木)	婦人会総会(中央公民館)
	19(金)	みなかみ町ゲートボール協会春季大会(ホッケー場)
	26(金)	千葉村総会(千葉村)

インフォメーション



5月 1❶ 大峰山山開き
26❷ 平標山山開き
6月 30❸ 武尊山山開き

7月 2❹ 谷川岳の日
7❺ 谷川岳山開き

議会だより編集特別委員会

- ◆委員長 阿部 賢一
- ◆副委員長 中島 信義
- ◆委員 小林 洋
内海 敏久
林 一彦

議会を傍聴してみませんか？

◆6月の定例会は、5～14日を予定しております。

—お問い合わせは— 議会事務局まで
☎25-5023(直通)





新生みなかみドルフィンズ

みなかみドルフィンズ

監督 石 関

剛 (湯原)



昨年、水上ドルフィンズとオール新治がひとつとなり新生みなかみドルフィンズとして、現在部員二〇名で日々活動をしています。平日は別々に練習し、土日、祝日はいっしょに練習や練習試合、大会等に出場しています。また野球だけではなく、年に数回レクリエーションなどを行い、チームの和も深めています。

みなかみドルフィンズのチーム目標は県大会優勝、全国大会出場を目指し、選手達は日々練習に取り組んでいます。みなかみ町は雪国で冬はグラウンドが使用できず、体育館でしか練習ができません。他のチームに比べると多少ハンデがあります。先日行われた全日本学童利根沼田予選で見事優勝をし、利根沼田の代表として県大会出場を決め、選手達は雪国というハンデを乗り越え、雪国のチームでもできるんだという事を証明してくれました。

これも日々の練習と、練習は嘘をつかないという事を信じてやってきた成果だと思えます。これでチームの目標である県大会優勝、全国大会出場に一步近づける事ができました。選手達もこれまで協力してくれたお父さん、お母さん、周りの方々に感謝の気持ちを忘れず、目標に向かって突き進んでいってほしいと思います。



見事生還！

また、みなかみドルフィンズでは水上地区・新治地区で随時部員を募集しています。小学校一年生から野球に少しでも興味があり、やってみたいという人がいましたらぜひ一度、見学・体験しに来て下さい。また、チームの話だけでも聞きたいという方も大歓迎です。また一年生、二年生まではオレングジボールという競技があります。随時、オレングジボールも行ってありますので、ぜひ一度参加し、野球は楽しいと思ってもらえれば幸いです。



保護者の方にも見守られて

ふるさとクイズ?

問題 日本登山史の谷川岳初登頂日より、平成23年に制定された「谷川岳の日」は、何月何日？ ①. 8/2 ②. 7/2 ③. 7/7

応募のきまり

★正解者の中から抽選で5名様に粗品を進呈致します。ぜひご応募ください。

ハガキに住所・氏名・答えとご意見・ご感想を記入して下記宛にご応募ください。

〒379-1393 群馬県利根郡みなかみ町後閑318
みなかみ町議会事務局 議会だより「ふるさとクイズ」係

締切：平成25年5月31日 (当日消印有効)

※当選者の発表は、商品の発送をもってかえさせていただきます。